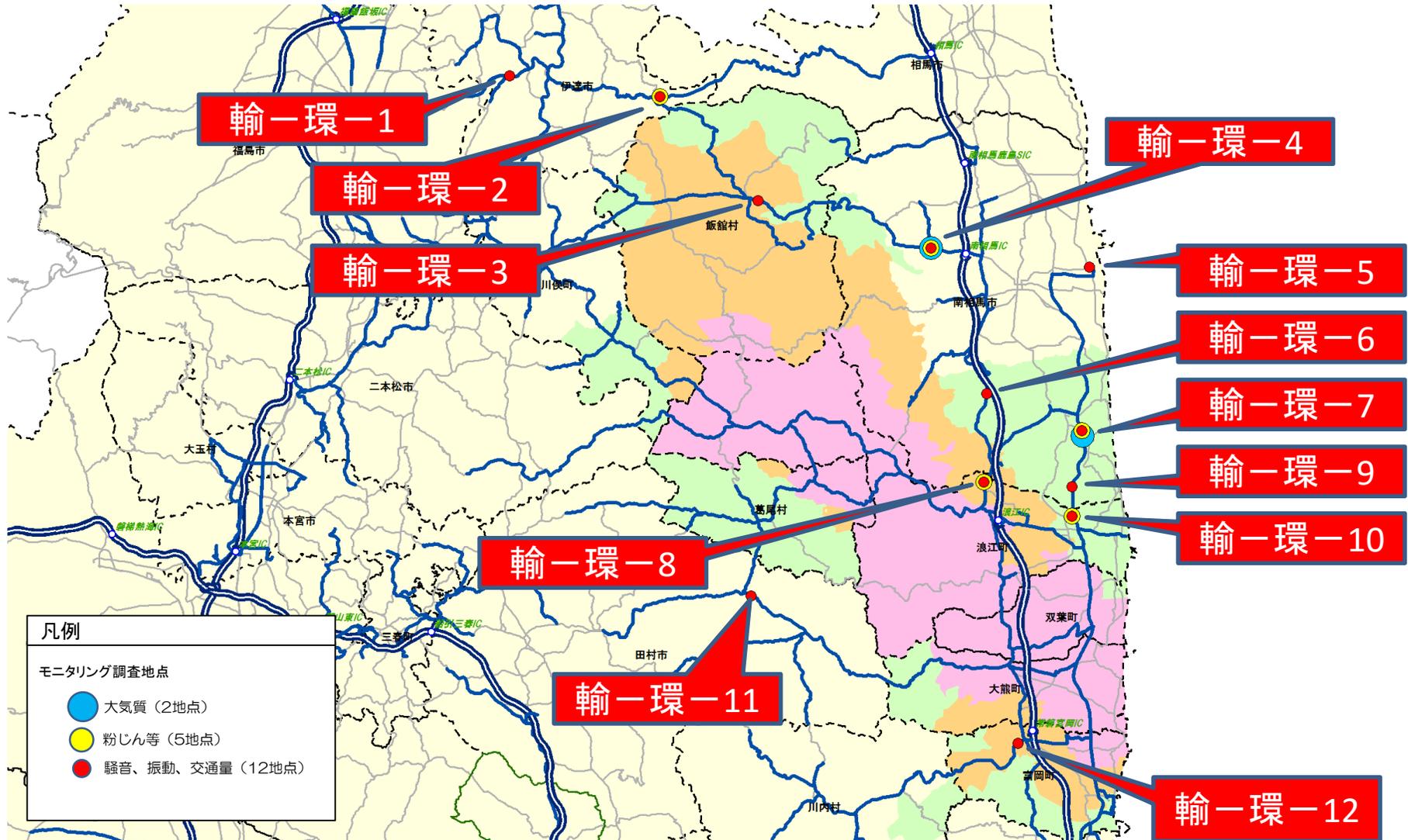


輸送路における環境調査

輸送車両の通過地点において騒音、振動、大気質（二酸化窒素、浮遊粒子状物質、粉じん等）の測定を実施し、沿道における生活環境への影響を確認している。



輸送路における環境調査の測定地点

輸送路における環境調査結果① 騒音

輸送路における騒音の測定結果(平成28年度)

地点			騒音[dB]		昼間16時間交通量(朝6時～夜10時)[台]			
			事前調査	輸送時調査	事前調査	輸送時調査	うち大型車両 うち輸送車両	
環境基本法に基づく環境基準			70	70	—	—	—	—
騒音・振動規制法に基づく要請限度			75	75	—	—	—	—
輸一環一	伊達市霊山町 下小国山岸	一般国道 115号	66	67	6,759	9,490	969	10
輸一環二	伊達市霊山町 石田	一般国道 115号	61	67	2,718	5,360	1,757	20
輸一環三	相馬郡飯館村 草野赤坂	県道 原町川俣線	70	—	6,669	—	—	—
輸一環四	南相馬市原町区大 原	県道 原町川俣線	69	69	7,179	7,152	1,386	14
輸一環五	南相馬市原町区北 泉南走	県道 北泉小高線	62	—	742	—	—	—
輸一環六	南相馬市小高区大 富	県道 相馬浪江線	63	62	2,096	2,094	717	10
輸一環七	南相馬市小高区 福岡有山	一般国道 6号	68	—	10,752	—	—	—
輸一環八	双葉郡浪江町 立野	県道 相馬浪江線	58	63	750	1,075	508	10
輸一環九	南相馬市小高区行 津	一般国道 6号	72	—	8,562	—	—	—
輸一環十	双葉郡浪江町 藤橋	一般国道 6号	71	—	9,065	—	—	—
輸一環十一	田村市都路町 岩井沢	一般国道 288号	66	68	4,076	4,404	681	5
輸一環十二	双葉郡富岡町 上手岡	県道 小野富岡線	65	65	2,353	2,864	1,108	5

※ 騒音、交通量とも昼間(6時～22時)の測定結果。

※ 騒音の値は等価騒音レベル(L_{Aeq})。

※ 下線は環境基準を超過したものを示す。

※ 輸送時調査が“—”の地点は、本年度は輸送車両の通過がなかった。

輸送路における環境調査結果② 振動

輸送路における振動の測定結果(平成28年度)

地点			振動[dB]		昼間12時間交通量(朝7時～夜7時)[台]			
			事前調査	輸送時調査	事前調査	輸送時調査	うち大型車両 うち輸送車両	
環境基本法に基づく環境基準			—	—	—	—	—	—
騒音・振動規制法に基づく要請限度			70	70	—	—	—	—
輸一環一	伊達市霊山町 下小国山岸	一般国道 115号	38	38	5,761	7,994	884	10
輸一環二	伊達市霊山町 石田	一般国道 115号	33	41	2,350	4,734	1,650	20
輸一環三	相馬郡飯館村 草野赤坂	県道 原町川俣線	52	—	5,914	—	—	—
輸一環四	南相馬市原町区大 原	県道 原町川俣線	33	30	6,178	6,245	1,246	14
輸一環五	南相馬市原町区北 泉南走	県道 北泉小高線	25未満	—	704	—	—	—
輸一環六	南相馬市小高区大 富	県道 相馬浪江線	35	35	1,794	1,785	617	10
輸一環七	南相馬市小高区 福岡有山	一般国道 6号	53	—	9,266	—	—	—
輸一環八	双葉郡浪江町 立野	県道 相馬浪江線	25未満	28	616	980	494	10
輸一環九	南相馬市小高区行 津	一般国道 6号	57	—	7,354	—	—	—
輸一環十	双葉郡浪江町 藤橋	一般国道 6号	57	—	7,792	—	—	—
輸一環十一	田村市都路町 岩井沢	一般国道 288号	38	41	3,476	3,755	613	5
輸一環十二	双葉郡富岡町 上手岡	県道 小野富岡線	38	37	2,096	2,500	1,075	5

※ 振動、交通量とも昼間(7時～19時)の測定結果。

※ 振動の値は80%レンジ上端値(L10)。

※ 輸送時調査が“—”の地点は、本年度は輸送車両の通過がなかった。

輸送路における環境調査結果③ 大気質(二酸化窒素、浮遊粒子状物質)

輸送路における二酸化窒素、浮遊粒子状物質の測定結果(平成28年度)

地点			区分	二酸化窒素[ppm]		浮遊粒子状物質[mg/m ³]		24時間交通量 [台/日]			
				事前調査	輸送時調査	事前調査	輸送時調査	事前調査	輸送時調査	うち大型車両	
			環境基準	0.06	0.06	0.10	0.10			輸送車両	
輸一環一4	南相馬市 原町区 大原	県道 原町 川俣線	春季	0.005 (0.003~0.008)	—	0.011 (0.005~0.019)	—	7,807	—	—	—
			夏季	0.003 (0.002~0.006)	—	0.010 (0.006~0.019)	—	7,686	—	—	—
			秋季	0.004 (0.002~0.005)	0.007 (0.004~0.010)	0.012 (0.007~0.017)	0.012 (0.008~0.015)	7,300	7,577	1,535	14
			冬季	0.007 (0.004~0.012)	0.007 (0.002~0.011)	0.009 (0.005~0.012)	0.008 (0.004~0.010)	6,608	7,574	1,838	21
輸一環一7	南相馬市 小高区 福岡有山	一般国道 6号	春季	0.006 (0.001~0.009)	—	0.012 (0.005~0.019)	—	10,809	—	—	—
			夏季	0.005 (0.002~0.009)	—	0.011 (0.007~0.018)	—	10,914	—	—	—
			秋季	0.007 (0.003~0.010)	—	0.011 (0.006~0.017)	—	11,822	—	—	—
			冬季	0.009 (0.002~0.015)	—	0.006 (0.004~0.009)	—	10,586	—	—	—

※ 二酸化窒素、浮遊粒子状物質は7日間測定。

※ 二酸化窒素、浮遊粒子状物質の測定値は調査期間平均値、カッコ内は日平均値の最小値～最大値。

※ 環境基準は環境基本法に基づく年間評価の値。

※ 輸送時調査が“—”の地点は、調査期間中に輸送車両の通過がなかった。

輸送路における環境調査結果④ 大気質(粉じん等)

輸送路における粉じん等の測定結果(平成28年度)

地点			区分	粉じん等[t/km ² /月]		24時間交通量[台/日]			
				事前調査	輸送時調査	事前調査	輸送時調査	うち大型車両	
			参考値	(20)	(20)			輸送車両	
輸一環一2	伊達市 霊山町石田	一般国道 115号	春季	5.8	—	4,781	—	—	—
			夏季	—	7.3	—	5,541	1,802	20
			秋季	—	4.0	—	4,653	1,344	3
			冬季	3.1	3.8	2,842	4,377	1,133	2
輸一環一4	南相馬市 原町区大原	県道 原町川俣線	春季	3.2	—	7,807	—	—	—
			夏季	2.5	—	7,686	—	—	—
			秋季	2.6	2.3	7,300	7,577	1,535	14
			冬季	14.3	3.9	6,608	7,574	1,838	21
輸一環一7	南相馬市 小高区 福岡有山	一般国道 6号	春季	2.5	—	10,809	—	—	—
			夏季	2.2	—	10,914	—	—	—
			秋季	3.0	—	11,822	—	—	—
			冬季	3.5	—	10,586	—	—	—
輸一環一8	双葉郡 浪江町立野	県道 相馬浪江線	春季	4.7	—	790	—	—	—
			夏季	3.4	—	1,009	—	—	—
			秋季	6.2	—	777	—	—	—
			冬季	5.4	4.3	959	1,087	508	10
輸一環一10	双葉郡 浪江町藤橋	一般国道 6号	春季	6.8	—	9,581	—	—	—
			夏季	5.2	—	9,513	—	—	—
			秋季	7.4	—	10,076	—	—	—
			冬季	9.2	—	9,605	—	—	—

※ 粉じん等は15日間測定。
 ※ 粉じん等は法令に基づく基準値はないため、「道路環境影響評価の技術手法(国土技術政策総合研究所)」の参考値を比較のため掲載。
 ※ 事前調査が“—”の地点は、調査期間中、輸送が継続しており、輸送が無い状態では未測定。
 ※ 輸送時調査が“—”の地点は、調査期間中に輸送車両の通過がなかった。

輸送路における環境調査結果(まとめ)

- 騒音、振動について、事前調査と輸送時調査で測定結果に大きな差は見られなかった。
- 騒音については、事前調査の段階で既に環境基準を上回った地点があったが、当該地点は、本年度は輸送車両の通過がなかった。振動は全ての地点で要請限度を下回った。
- 大気質について、二酸化窒素、浮遊粒子状物質は、事前調査と輸送時調査で測定結果に大きな差は見られず、全ての調査期間で環境基準を下回った。粉じん等についても、全ての地点で参考値を下回った。
- 今後も引き続きモニタリングを実施するとともに、制限速度の遵守、急発進及び急加速の抑制等により、輸送量の増加時にも騒音等の影響の低減に努める。